

2021年
11月1日発行

ふれあいネットワーク

福祉ひの

発行／ 勤労福祉会館内 日野町社会福祉協議会

〒529-1602 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地
TEL 0748-52-1219・1920 FAX 0748-52-2009
E-mail: hureai01@rmc.ne.jp
ホームページ <http://hinoshakyo.or.jp/>

- *おもちゃ図書館は、毎月第2・第3金曜の9:30～保健センターにて開催しています。9月10日のおもちゃ図書館には、9組の親子の参加がありました。緊急事態宣言下での開催でしたが、子どもたちはコロナになんて負けないくらい元気に遊んでいました。
- *おもちゃ図書館では、12月10日に「クリスマスのつどい」を行います。参加希望の方は、おもちゃ図書館開設日に、会場にて直接お申込みください（受付期間は11月19日まで。定員30名になり次第、受付を終了します）。



もくじ

1. 「おもちゃ図書館」
2. 赤い羽根共同募金ご協力のお願い
3. 第71回社会を明るくする運動作文コンテスト / 「心ふれあう福祉のつどい2021」のお知らせ
4. 寺子屋食堂（子ども食堂）日野町ファミリーサポートセンター / 日野町サマーホリデー事業が開催されました
5. 民生委員だより / ひだまりだより
6. ちいきの輪
7. コロナ禍で、頑張るひとり親家庭を応援しています!! / 地域福祉活動計画の冊子が完成しました / レトルト食品等の寄付をお願いします!
8. 法律相談 / よろず相談 / 善意銀行だより / ほっこりカフェ





令和3年度 赤い羽根共同募金に ご協力をお願いします



バッジ募金もしています♪

10月1日から12月31日まで、赤い羽根共同募金運動が全国的に展開されており、日野町においても取り組みを行っています。

毎年、町内各家庭をはじめ、企業や職場、学校など多くの皆さまからあたたかいご協力をいただき、誠にありがとうございます。皆さまからお寄せいただいた募金は、こどもの日の行事・100歳のお祝い・いきいきサロン活動など様々な地域福祉活動を応援するため活用されます。

今年も「赤い羽根共同募金」ならびに、12月1日より始まります「歳末たすけあい募金」に、皆さまのより一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

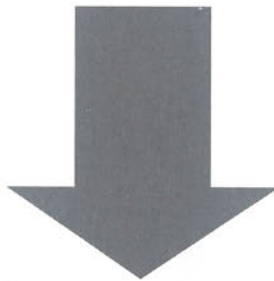


赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金のしくみ



▲街頭募金のようす

皆さまからの募金



▲昨年度は感染症対策グッズの購入を目的としたテーマ型募金を実施しました。

日野町共同募金委員会でとりまとめます

歳末たすけあい募金



赤い羽根
共同募金



滋賀県共同募金会で県内の募金をとりまとめます

☆地域歳末たすけあい助成金☆
日野町共同募金委員会でとりまとめ、今年度に活用させていただきます。

☆広域助成金☆
滋賀県共同募金会から県内の福祉団体等の活動に助成されます。

☆地域助成金☆
滋賀県共同募金会から日野町共同募金委員会に助成され、翌年度に活用させていただきます。

第71回 “社会を明るくする運動” 作文コンテスト

町内の小学生から198作品の応募

「社会を明るくする運動」の啓発活動の一環として、町内の小・中学生の皆さまに、犯罪・非行のない地域社会づくりや犯罪・非行などに関して考えたこと、感じたことを題材とした作文を募集したところ、日野小学校より100作品、桜谷小学校より16作品、西大路小学校より23作品、南比都佐小学校より5作品、必佐小学校より54作品のご応募をいただきました。

「社会を明るくする運動」日野町推進委員会で作文コンテスト審査委員会を開催し、ご応募いただいた中から、次の3名の作品を優秀作品として滋賀県推進委員会へ推薦させていただきました。

ご応募いただきました皆さま、どうもありがとうございました。



優秀作品

【小学生の部】（順不同、敬称略）

題名「明るい社会を大切に」

辻 桃夏（日野小学校5年）

題名「あいさつでつながる」

野瀬 蒼生（西大路小学校5年）

題名「つながりのある社会を目指して」

廣瀬 清香（西大路小学校5年）

ひろせ

さやか

（西大路小学校5年）

「広げよう 地域のふれあい 支えあい」 心ふれあう福祉のつどい2021

「心ふれあう福祉のつどい2021」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から時間を短くし、参加者を限定して開催します。

また、共同募金会バッジデザイン表彰もあわせて実施します。

と き

令和3年11月23日(火・祝)

10:00～12:00(予定)

ところ

日野町町民会館わたむきホール 虹 ふれあいホール

内容

日野町社会福祉協議会会長表彰・感謝状授与

※福祉団体活動等の展示については、令和3年12月下旬から令和4年1月中旬にかけて、日野町立図書館のギャラリーにて展示する予定をしています。

また、日野町社会福祉協議会のホームページでも掲載を予定しています。

寺子屋食堂(子ども食堂) 日野町ファミリーサポートセンター



寺子屋食堂は、平成28年度に開設された子ども食堂で、日野町内の小学生を対象に、小学校の長期休暇の間に3日～5日、ファミリーサポートセンターや日野町内の公共施設を会場に開催されています。

しかし、昨年度は新型コロナウイルスの影響で子ども食堂を開催することができませんでした。

「集まってできないならこちらから出張しよう」と今年度はパン・ジュース・ゼリー・自宅で遊べるおもちゃを配布し、テイクアウト式で開催されることとなりました。

出張食堂当日は、夏休み中の子どもたちが徒歩や自転車・保護者の方に送ってもらったりとさまざまな方法で元気に会場まで来られました。

パンやジュース・おもちゃをどれにするか迷ったり、夏休みの出来事を話したりと短い時間ですが、子どもたちも家や小学校以外で大人と接する貴重な機会になりました。

冬休みも出張食堂を行う予定をされています。詳細は、日野町ファミリーサポートセンター(080-9752-1515)までお願いします。



日野町サマーホリデー事業が開催されました

「放課後クラブともだち」は、町内在住の、養護学校や小・中学校の特別支援学級に通う子どもたち(小学1年生～高校3年生)を対象に、わたむきの里福祉会がされている学童クラブです。東桜谷公民館横の日野町児童交流施設「ともだち」にて、平日の放課後や土曜日に開催されています。さらに夏休みには「日野町サマーホリデー事業」として、子どもたちといっしょに遊んだり、活動したり、調理を手伝って下さるボランティアさんを募集し、月～土の日中に開催されています。



▶ 配膳の様子

今年の夏休みは、延べ約500名の子どもたちが利用されました。ボランティアには、養護学校や聾話学校・町内小学校の先生方をはじめ、民生委員さん、手をつなぐ育成会、日野高校の学生さん、日野町役場などから、延べ約200名の方がご協力くださったとのこと。社協も参加させていただきました。

熱中症対策に加えて、新型コロナウイルスの感染対策。以前よりも活動に何かと制限のあるなかでの開催でしたが、それでもパワフルに遊ぶ子どもたちの姿に、たくさん元気をもらいました。

「放課後クラブともだち」では、冬休みや春休みなどの長期休暇にもホリデー事業を開催されており、同じようにご協力いただけるボランティアさんを都度募集されています。日野町に住む子どもたちとの良い交流の機会にもなりますので、興味のある方、参加してみませんか。詳細については、放課後クラブともだち(0748-36-2257)までお願いします。



◀ 活動中の様子

「やむらひ」に参加して

東桜谷地区 民生委員・児童委員 遠城幸江

広いホールで走り回る子、ミニカーで遊ぶ子、おままごとをしている子、思い思いに自由に子どもたちが遊んでいるところは、東桜谷公民館です。

毎月第一・第三水曜日に十時から十一時半まで、おうちで子育てをされている親子が子育てサロン「さくらっこ」に来られます。

私も民生委員・児童委員になってからこのような活動を知り、参加させていただくことになりました。

最初の頃は、慣れなくて見守っているだけでしたが、何回か参加するうちに顔見知りになり、「今日も元気で参加されているな」と感じるようになり、おもちゃと一緒に遊んだりするようになりました。

地区も年齢も違う子どもたちが一緒に過ごす大切な時間であり、子どもは大人と違ってすぐに打ち解けて仲良くなります。

最初の頃は、ヨチヨチ歩きの子が、今では走り回って、成長の早さにもびっくりさせられます。

また、お母さんたちも同じ年頃の子育てについて、悩み等話されています。

おうちで子育てされている方、一度来てみてください。案外心配することはないと思います。来ることにより、スッキリすることもあり、交流の場になると思います。「また明日から子育て頑張ろう」と思えるのではないのでしょうか。

この状況なので、終わる時間が近づくとみんなでひとつずつおもちゃを消毒して片付けます。まだ遊びたいと泣く子もいますが、片付けを手伝ってくれる子もいます。

私も児童福祉部に所属している関係上、このようなつどいにはなるべく参加させていただき、少しでもお手伝いさせていただければと思っています。

ひだまりだより

ケアマネジャーとして思うこと

介護支援専門員 須口千鶴

ご家族の介護をされている方や、介護が必要となってきたなと思われる方等、日常に困ったなと思うことはありませんか？

私たちケアマネジャー（介護支援専門員）は、ご本人やご家族の思いをお聴きし、困りごとや今起こっている問題に向き合い、ご支援できる方法をいっしょに考えていきます。ご本人のできること・〇〇したいと思う意欲を大切にしながら、医療や介護事業者、町や地域の関係員の方等と連携を図り、その方に適した必要な介護サービスが提供できるようにケアプラン（居宅サービス計画書）を作成します。そのプランに基づき、ご本人やご家族が少しでも暮らしやすくなるようにチームで支援していきます。またそのサービスが適切であるか、計画書どおりに提供されているかも定期的に、また随時、訪問等を通して現況を常に確認します。新たな問題が発生したり、ご本人の心身状態に変化等が生じた時には必要に応じて担当者会議を開催し、ケアプランを見直し、サービスの調整を行います。住み慣れたご自宅で、その方の望まれる暮らしの実現に向けお手伝いをさせていただきます。

このサービスの利用により、生活がしやすくなった、自分でできることが増えた、そして家族の介護が楽になったと喜んでくださった方もいらつしゃいます。ケアマネジャーとして本当にうれしく思える瞬間です。しかしながら、ご高齢の方には困難な状況が続いてしまう場合もあります。ご本人やご家族からいろいろなお話をお聴きし、常に緊張感をもって対応していきたいと思っています。お出会いして、その方の歩んでこられた人生のお話に触れることもあり、学ばせていただくことも多くあります。その深い人生から現在に、少しでも寄り添えることが出来ればと思っています。ケアマネジャーとして関わってほしい人のつなぎ役として、より良い支援が提供できるよう努めていきたいと思っています。心配なことがありましたら、ひだまり事業所までどうぞお気軽にお電話ください。お話し聞かせていただきます。

これを書いている今、「新型コロナウイルス」のまさに緊急事態宣言の真っ最中です。町全体の行事、地域の行事、各公民館の事業、サロン等、去年から2年続けて中止・延期が続いています。高齢者がワクチンを2回接種できたら、地域の居場所だけでも開けると望みを抱いていたのは、私だけでしょうか？

でも、そんなことばかり言っても先へは進めないので、今回はコロナ禍でも感染症対策を施してサロンを開いて下さっている所の紹介です。

西大路二区大日町「なかよしサロン」

西大路二区大日町「なかよしサロン」は、毎月第1・第3日曜日13:00~16:00 大日町会議所を開放していらっしゃいます。先日、やっとお邪魔することができました。代表の方にお邪魔したいとお願いしたところ、「うちは何もしていない。ただ会所を開けているだけ」とおっしゃいました。サロンを始めてからもう6年になるそうです。「これからは、こういうサロンのようなことが必要になってくると思う。でも、なかなかみんなに理解をしてもらうのが大変。参加してくれる人が固定されて、新しく参加する人がなかなかいない。もっと参加してくれるといいなあと思っている」と。「コロナ禍でもお休みされないのは？」とお聞きすると、「なんか問題でもあるの？ 感染症対策を取りながら、それぞれが体調管理をして参加してくれている。感染者も今のところ出ていないし…それよりも、楽しみにしてくれているので、変わらずに開けていこうと思っている」とおっしゃっていました。ご参加の方に向けて「出かけようと思うと、洋服をどれ着ようとか、髪をなでつけたり時間を気にしたりする。何気なくしていることが大事なことだと思う」そう話されると、皆さん大きく頷いていらっしゃいました。

皆さんのほうから、「このようなサロンを開いてもらい、ありがたいと思っています。『今日はサロンの日』と確認をしながら、毎回楽しみに参加させてもらっています。みんなとおしゃべりをするのが楽しみ」「戦争までは近所のうちでみんなでご飯を食べたりしていたわ。ずいぶん昔のことだけれど」「せっかく開いてくれているのだから、もっと参加してくれたらいいのに」などのお声をいただきました。

この会議所には、字の名前の由来になっている「大日如来坐像」が納められていました。このあたりの土の中から、この「大日如来坐像」が出てきたとのこと。座敷の奥の立派な館の中に、穏やかなお顔の「大日如来坐像」があられ、このあたりの皆さんを見守ってくださっているのだと感じました。

つぶやき

* 悔しいことに、「新型コロナウイルス」の流行により私たちの生活は、何もかもが変わってしまいました。このウイルスの正体がわからない中で、対応策も取れず、薬もなくただあたふたとしながら、どんどん増えていく感染者数を見て、強い恐怖心も味わいました。人が集まるようなことを計画すると「何かあったらどうするんだ。誰が責任を取るんだ」そういう言葉が聞こえてきて「やっぱりやめておこう」でここまでできました。

今、日野町でもワクチン接種が進み、希望される高齢者は2回、若い年齢層への接種も少しずつ進んでいます。



新型コロナウイルスがすっかりなくなるのは、まだまだ時間がかかりそうですが、それでも少し明るい兆しが見えてきたような…しっかりとした感染症対策を取れば、いい意味でのコロナとの付き合い方が見えてくるのではないのでしょうか。何も気にしなくてよかった頃には戻れませんが、皆さんが今まで大切にしてくられたそれぞれの字の宝物を「コロナウイルス」から取り戻す、その準備をそろそろ始めませんか？

(筆 生活支援コーディネーター 橋元成子)

コロナ禍で、頑張るひとり親家庭を応援しています!!

先日、町内匿名様より「いまだに、コロナウイルスの終息が見えない厳しい状況です。何らかのお役に立てれば。」というお気持ちで、米30kg×20袋を善意銀行にご寄付をいただきました。

また、この他にも地域福祉に活用してほしいという思いでのお米のご寄付をいただきました。この思いを、今回「日野町社会福祉協議会子育て支援事業」として事業化しました。新型コロナウイルス感染症による影響が長期化している中、低所得のひとり親家庭を応援するように、1世帯あたり3kgの白米をお配りさせていただきます。対象者世帯には後日ご通知させていただきます。



温かいお気持ちをありがとうございました。

地域福祉活動計画(第4次プラン)の冊子とダイジェスト版が完成しました!!



日野町社会福祉協議会では、令和3年3月に「日野町地域福祉活動計画(第4次プラン)」を策定し、このたび、計画の冊子およびダイジェスト版が完成しました。

第4次プランは、第3次プランの考え方を引き継ぎながら、住民をはじめ地域の多様な人・団体・機関と連携することで、住民の抱える生活課題を見逃すことなく、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指します。

ダイジェスト版は、各世帯に配布させていただきますので、是非ご覧ください。

レトルト食品等の



寄付をお願いします

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、生活にお困りの方が増えている状況となっています。社協では、お困りの方に食料支援を行っております。

主に賞味期限の長いレトルト食品等のご寄付を募集しております。ご寄付いただいた食料品につきましては、善意銀行にて受けさせていただきます、有効に活用させていただきます。

提供していただきたい食品例	受付ができない食品例
<ul style="list-style-type: none"> 賞味期限が提供時から3か月以上あり、常温保存可能なもの 缶詰、レトルト食品、インスタント食品 のり、ふりかけ等 	<ul style="list-style-type: none"> 開封されたもの 生鮮食品(生肉、魚介) アルコール類(みりん等は除く)



相談のご案内

～お気軽にご相談ください～

法律相談 (要予約)

法律的な専門知識が必要な相談を受付けています。

***相談日**

①12月6日(月) ②1月11日(火)

③2月7日(月) ④3月7日(月)

***相談時間**

午後1時30分～午後4時まで
1人あたり30分(各日5名まで)

***相談場所**

日野町勤労福祉会館応接室

***相談員**

京町法律事務所弁護士

***事前予約が必要です(毎回先着5名)**

日野町社会福祉協議会までご連絡ください。
あらかじめ相談概要をお伺いします。

よろず相談 (予約不要)

***相談日時**

第3以外の木曜日(祝日を除く)
第2・4木曜日は、特設人権相談所も併設
しています。

午前9時～正午まで
(受付締め切り時間は11時30分)

***相談場所**

日野町勤労福祉会館応接室
よろず相談の予約の必要はありません。

相談のある方は直接会場へお越しください。

【日野町社会福祉協議会 電話 52-1219】

行政相談 (予約不要)

行政サービスに関する苦情や相談などを受け付けています。

***相談日時**

第3木曜日(祝日を除く)
午前9時～正午まで
(受付締め切り時間は11時30分)

***相談場所**

日野町勤労福祉会館相談室

ほっこりカフェ

在宅でご家族の介護をされている方の、毎日の介護で疲れた身体と心を癒していただくための場です。
都合のつく時間にお気軽にご参加ください。

日にち	内容
11月11日(木)	「懐かしの」カフェ
12月8日(水)	クリスマスの飾り作り
1月13日(水)	絵てがみカフェ

***時間** 13:00～15:00

***場所** 日野町勤労福祉会館

***問合せ先** 日野町社会福祉協議会 ☎52-1219

※新型コロナウイルス感染症の状況により、事業を中止・変更することがあります。あらかじめご了承ください。



善意銀行だより

(令和3年8月1日～令和3年9月30日まで)

【現金預託】

(順不同敬称略)

預託者	金額
匿名	50,000円
匿名	500円
蒲生ゴルフ倶楽部	99,000円
蒲生協友会	10,000円

【物品預託】

(順不同敬称略)

預託者	物品名
匿名	米30kg×20袋
匿名	米60kg
迫谷 嘉雄	米60kg
匿名	菓子・海苔
ひの小さな食堂	さば缶40缶 スティックコーヒー 700本

善意銀行への温かいご寄付ありがとうございます。
皆さまの善意を地域福祉向上に役立てていきます。
また、野菜や物品のいただきものは町内施設や社協事業などで使わせていただきます。

ありがとうございました



蒲生ゴルフ倶楽部で開催された「第19回 ふれあい・支えあう福祉チャリティコンペ」でのチャリティ資金を蒲生ゴルフ倶楽部様と蒲生協友会様からご寄付いただきました。

日野高校1年生がボランティア体験学習の一環として、自分たちで育てたお花を届けてくださいました。勤労福祉会館の玄関が華やかになりました。



【お詫び】

「福祉ひの」第173号P.4に掲載しました「第30回 滋賀県シルバー作品展が開催されました」について、名前の掲載漏れがありました。誠に申し訳ありませんでした。

㊞ 洋画 《入選》石山 忠義さん